

新宮山彦ぐるーぷ第2077回

### 持経宿・平治宿の巡回整備

◇実施日：2020年5月2日（土）晴

◇参加者：沖崎吉信、児嶋道夫、梶野照雄、村吉光夫

4名

今年是非常事態宣言を受けて、行仙宿での小屋番は中止になったが、持経宿は村吉さんが小屋番を引き受けて下さっている。村吉さんの慰労も兼ねて、巡回整備を行った。



ゲートに注意書き

持経宿に到着

本日の参加者

9時にスポーツ公園集合、児嶋さんはトラックで、沖崎さんは2輪車でさっそうと現れた。児嶋さんのトラックには小さなシンクと

ドラム缶が積み重ねられていた。シンクは持経宿の水場に、ドラム缶は行仙宿のストープの予備に使うそうだ。

池郷林道は、4〜5回車を降りて落石を排除、30分でゲートに着く。ゲートには宿泊についての注意書きが掲示されていた。ゲートから上はいつもと変わらない状態で、20分程で持経宿に到着。村吉さんの出迎えを受ける。

宿泊の状況など、しばらく談笑、発電機の始動法を伝えて児嶋さんと二人で水場に向かった。



水場にシンク設置

テントを張った跡がある

平治宿に到着

水場は十分な流れがあるが、ホースに泥や落ち葉が詰まっ出ていて水は少ない。取水口とホースの継ぎ目を掃除してよく出るようになった。

児嶋さんは持参のシンクを据え付け、鉄筋を打ち込み針金で固定。足元に岩を置いて動かないようにした。これで水場の作業終了と思っただ、「トラックで来ているので薪材を拾って帰る」と木を集め

出した。チェーンソーを持ってきたので4〜5本を切ってトラックに積む。30本位を積んで小屋に戻った。

小屋で薪材を降ろし、電動のチェーンソーを使って薪用に小切った。予定外の作業で、平治宿に向かうのが遅れて、持経宿を出発したのが11時45分になってしまった。

林道脇に昨年整備したテント場にテントを張った跡があった。千年桧を越えるところまでは快調だったが、中又尾根分岐に登り始める、と暑くて汗びっしょり、やつとの中で中又尾根分岐に到着するが、あまりの暑さに耐えかね、座り込んで15分間も休憩してしまった。登りの減速と長い休憩で、平治宿に着いたのは1時15分、すぐに昼食を摂る。食後、村吉さんから託された掲示物を取り替える。裏には両面テープが張っており、押しピンを探さなくてもいいように配慮されていた。



平治小屋の掲示物



メモリー交換



水場に降りる

監視カメラのメモリーを交換、持ち帰って映像を確認すると3月

17日に2名の宿泊者があり、もう一回記録されていたが、人影は映っておらず、ドアを開けて中を覗いただけと思われた。メモリーの交換直後に瀧本さんから電話があり、明日行仙宿へ行くという。10時頃に登山口に到着予定と告げて電話を切った。

小屋での作業を終え水場の確認に向かう。水場の水流はわずかになっていたが、グレーチング蓋のおかげで水槽に入っている石は少量だった。水を掻き出して底浚えして水場を後にした。



底浚え



持経宿に戻る



夕日に映える石ヤ塔

暑さに体が慣れてきたらしく、持経宿までは快調に進み、50分弱で到着、沖崎、児嶋両名はすでに帰ったようで、姿は無かった。村吉さんから冷たいコーラを頂き、15分ほど休憩した後、持経宿を離れ帰途に就いた。帰宅後、沖崎さんからメールがあり「水場先の林道を調査した結果、正法寺谷までは通行可。白谷林道は池郷林道よりも走行しやすい」とのことだった。

(記：梶野)

## 行動タイム

09：00スポーツ公園↓09：49持経宿10：15↓水場↓持経宿11：45  
↓13：03平治宿14：12↓15：01持経宿15：20

## 【連休の持経宿小屋番】

◇実施日：2020年5月1日（土）～5日（火）

◇参加者：村吉光夫

1名

何とも妙な小屋番でした。

宿泊者は

5月 1日	0		
2日	0		
3日	3人	4千円、2船内、2千円	計8千円
4日	2人	3千円、3千円	計6千円
合計		1万4千円	

3日、4日と連泊した人が1人ですので、実数4人、延べ5人です。  
4日に宿泊した森川さんからガスボンベ1本寄贈有り。

小屋の張り紙はゲートに付けた物と同じ物に変えてきました。状況が変わって外したほうが良い状況になったら外しに行きます。小屋前の石鹸と手洗い水は残してきました。

手で触りそうな所は除菌、抗菌シートで拭いてきました。

置時計型の温度計、湿度計を登山者が破損、いつも掃除の邪魔になっていたもので、「イイよ、イイよ」と軽く言って持ち帰りました、廃棄します。

掃除機の使用は快通でした。カーペット掃除を連泊の女性が丁寧にやってくれました。

平治の時計の電池交換。昨年未だ梶野さんと一緒に行った時に梶野さんに電池をもらって入れたのですが止まっていました。電波時計は電池を余計に喰うのかもしれない。

平泊の小屋の裏側、落葉がかなり溜まっていますので、掻き出して崖から落としました。今のところ床濡れがなくて幸いです。周りにU字溝を入れたら床濡れしなくなるのでしょうか？

持経宿の便槽を覗いてみました。中はごく少量です。前回、梶野さんとも話しましたが、汲み取り過ぎて分解力が弱まっているかもしれません。以前に玉岡さんと汲み取りした時には固形物は見たことが無いくらい分解されていました。汲み取り作業も中の構造物が見えたくらいで止めて、それ以上は汲みませんでした。

持経宿の照明は動作が不安定です。1日目、2日目とも異常なし。3日目に宿泊者に照明の説明をしている最中にアラーム&点滅になりました。4日には点灯して20分位でアラーム&点滅です。一度オフにして再点灯してみましたがダメです。でも夜明け前の時間に点けると問題無く点灯します。

宿泊者4人の住所電話番号を記入してもらったカードを持ち帰っています。万が一、発症した時には連絡するように伝えていきます。連絡先は私の携帯か、沖崎さんの自宅の番号になっています。何

もなければ5月末にカードは焼却します。

(記：村吉)